

## 燕岳山行

泉州労山 井上敦子

日程：2018年4月27日夜大阪発→28日燕岳登山口→燕岳→  
燕山荘泊（行動時間約7時間半）→29日燕岳登山口  
（行動時間約4時間）→大阪帰着

4月ゴールデンウィークの前半を利用し燕岳へ行ってきました。  
メンバーは、冬山セミナー24期の生徒及びスタッフ有志です。  
冬セミのオプション山行で西穂丸山止まりだった私たち生徒3人  
へ、雪のある内にとスタッフお二人から春山のお誘いが…!!

行先を燕岳に決めたものの、「延々と続く登りっぱなしの行程」  
とか「アルプス三大急登」とか不安になるばかりの情報だらけで、  
果たしてたどり着けるのかどうか…

山行初日、後日自会の方が「十年に一度の晴れ」と評された程  
の好天に恵まれた中登ります。雪も無く、ひたすら登り、暑いで  
す。でもこの時点でも見える景色は凄いです。朝日に光って遠く  
の山並みの雪がきらきらしています。第3ベンチ辺りから雪が出  
てきました。それでもアイゼンをつけず、だましまし進みます。  
富士見ベンチまでこのまま行けるかと思いましたが、残念(?)

アイゼン装着です。途端に足重い…でもザック軽い!!ここまでで約2時間半、きついです。一番遅い私のスピードなので、他のみなさんは余裕、どんどんレベルアップする景色に興奮の様子。なんとか合戦小屋、引き続き燕山荘を目指し登って行くのですが、息は上がるわ、足は重いわで、折角の「十年に一度の晴れ」の中に浮き上がるアルプスの山々、遠くには富士山までくっきり、の最高の景色を堪能する余裕も無く、ただただ足元を見るのみと言う非難轟々の状態で、ようやく燕山荘へ到着できたのは、出発からやれやれ6時間後でした。その後燕岳を踏み、その頃にはどうにか春アルプスの最高にきらきらした景色が目に入る余裕もでき（お天気が良いので、どの山もくっきり近い!!）、たどり着けた~!!と感慨ひとしおでした。

翌日も引き続き好天の中、これまたなんとか下山できました。今回行って帰ってこられたのは、ひとえに同行のみなさんのおかげです。計画の段階から色々アドバイスを頂き、山行中も暖かい叱咤激励を頂き、根気よくおつきあいいただきまして本当にありがとうございました!!「どこへ行くか」以上に「だれと行くか」に感動させて頂いた山行でした。今後とも宜しくお願い致します。